



殺虫剤

サンケイ トレボン[®] 乳剤

有効成分：エトフェンプロックス……………20.0%



トレボン乳剤は
たくさんの作物と害虫に使えます。

栽培する作物、発生する害虫に合わせてご使用ください。

公園の樹木、街路樹のケムシにも！

■ 適用病害虫名と使用方法

2021年11月24日現在の登録内容

作物名・適用場所	適用病害虫名	希釈倍数（倍）	10a当たり使用液量	使用時期	使用回数※1	使用方法
たばこ	タバコガ、ヨトウムシ アブラムシ類、タバコノミハムシ	2000 1000～2000	25～180ℓ	収穫10日前まで	2回以内	
樹木類 (つつじ類、ポインセチア、ソテツを除く)	ケムシ類、シャクトリムシ類 オビカレハ	4000 2000		幼虫発生期 —		
つつじ類	ツツジグンバイ ケムシ類、シャクトリムシ類 オビカレハ	2000 4000 2000		幼虫発生期 —		
ポインセチア	コナジラミ類 ケムシ類、シャクトリムシ類 オビカレハ	1000 4000 2000		幼虫発生期		
ソテツ	クロマダラソテツシジミ ケムシ類、シャクトリムシ類 オビカレハ	2000～4000 4000 2000		幼虫発生期	6回以内	散布
宿根かすみそう	シロイチモジョトウ ヨトウムシ	1000		—		
りんどう	ヒラズハナアザミウマ					
きく カーネーション	アブラムシ類	2000	100～300ℓ	発生初期		
ゆり				—		
トルコギキョウ とうき、採種用とうき	バスモンヨトウ キアゲハ	1000		幼虫発生期		

※1 本剤の使用回数および、エトフェンプロックスを含む農薬の総使用回数を示す。



サンケイ化学株式会社

サンケイトレボン乳剤

農林水産省登録 第17169号 人畜毒性(普通物1) 1)「毒性および劇物取締法」(厚生労働省)に基づく、特定毒物、毒物、劇物の指定を受けない物質を示す。

■適用害虫と使用方法

							2021年11月24日現在の登録内容									
作物名・適用場所	適用病害虫名	希釈倍数(倍)	10a当たり使用液量	使用時期	使用回数※1	使用方法	作物名・適用場所	適用病害虫名	希釈倍数(倍)	10a当たり使用液量	使用時期	使用回数※1	使用方法			
稻	コブノメイガ	1000	60～150ℓ	収穫14日前まで	3回以内	散布	マンゴー	チャノキヨラアザミウマ	1000	200～700ℓ	収穫7日前まで	3回以内	散布			
	ツマグロヨコバイ、ウンカ類、イネドロオイムシ、イナゴ類	1000～2000					小麦	ヒメトビウンカ、アブラムシ類	2000	60～150ℓ	収穫14日前まで	2回以内				
	カメムシ類、イネミズソウムシ	2000					とうもろこし	アワノメイガ、アワヨトウ			収穫7日前まで	4回以内				
	ウンカ類	300～600	25ℓ				ぱれいしょ	アブラムシ類			収穫14日前まで	3回以内				
	ツマグロヨコバイ、イネミズソウムシ、イネドロオイムシ	300					かんしょ	ナカジロシタバ、アブラムシ類、ハスモンヨトウ			収穫7日前まで	4回以内				
	カメムシ類	600					やまのいも	アブラムシ類、ヤマノイモガ、ハスモンヨトウ			収穫14日前まで	3回以内				
きび	アカスジカスミカメ		1000～2000	収穫3日前まで	3回以内	散布	さといも	ハスモンヨトウ			収穫7日前まで	3回以内	散布			
あわ	アワヨトウ、アワノメイガ	1000					さといも(葉柄)				収穫前日まで					
キャベツ							かぼちゃ	コナジラミ類、ウリハムシ								
はくさい							豆類(種実、ただし、だいず、あずきを除く)	マメシンクイガ、アブラムシ類、シロイチモジマラメイガ、ダイズサヤタマバエ、カメムシ類、タヌシヒメハムシ、ハスモンヨトウ、ウラナミジミ、アズキノメイガ								
だいこん							だいizu	マメシンクイガ、アブラムシ類、シロイチモジマラメイガ、ダイズサヤタマバエ、カメムシ類、タヌシヒメハムシ、ハスモンヨトウ、ウラナミジミ、ウコンノメイガ、ツメクサガ、アズキノメイガ								
プロッコリー	アオムシ						あずき	マメシンクイガ、アブラムシ類、シロイチモジマラメイガ、ダイズサヤタマバエ、カメムシ類、タヌシヒメハムシ、ハスモンヨトウ、ウラナミジミ、ノメイガ類								
ねぎ	シロイチモジヨトウ		1000	収穫21日前まで	2回以内	散布	しょうが	ハスモンヨトウ			収穫14日前まで	2回以内	散布			
レタス	アブラムシ類						葉しょうが				収穫7日前まで	3回以内				
すいか	アブラムシ類、コナジラミ類、ハスモンヨトウ、ヨトウムシ						ふき	コナジラミ類、キノメイガ、ヨトウムシ			収穫14日前まで	3回以内				
メロン	アブラムシ類、コナジラミ類						せんきゅう	ウリハムシモドキ								
なす	コナジラミ類						せり(水耕栽培)※2				収穫30日前まで	2回以内				
ピーマン	アブラムシ類	1000～2000					せり(水田)				収穫21日前まで	但し、伏せ込み栽培は伏せ込み前まで				
オクラ	アブラムシ類、カメムシ類		100～300ℓ	収穫前日まで	3回以内	散布	みつば				100～150ℓ	収穫14日前まで	散布			
きゅうり	コナジラミ類、アブラムシ類						みずいも(水田)	オキナワイナコモドキ			100～150ℓ	収穫30日前まで				
にがうり	アブラムシ類、ウリノメイガ、カメムシ類、コナジラミ類、ヨトウムシ類						あしたば	アブラムシ類	2000		100～300ℓ	収穫14日前まで				
トマト	コナジラミ類						てんさい	ヨトウムシ	1000～2000		200～400ℓ	摘採21日前まで				
さやえんどう	シロイチモジヨトウ、ヨトウムシ、ウラナミシジミ						茶	チャノホソガ、チャノミドリヒメヨコバイ、チャノキヨラアザミウマ			60～150ℓ	—				
実えんどう							水田作物、畑作物(休耕田)※3	カメムシ類			100～300ℓ	収穫3日前まで				
さやいんげん	ワタアブラムシ、ウラナミシジミ、マメノメイガ		1000	収穫45日前まで	2回以内	散布	食用ざく	アブラムシ類	2000		100～300ℓ	収穫30日前まで	散布			
えだまめ	マメシンクイガ、シロイチモジマラメイガ、ダイズサヤタマバエ、カメムシ類、ツメクサガ、フタヌシヒメハムシ、ワコンノメイガ						ほうき	ホウキツツミノガ	1000		100～300ℓ	—				
未成熟ささげ	アブラムシ類															
うど																
モロヘイヤ	アザミウマ類															
かんきつ	コアオハナムグリ、ケシキスイ類	1000～2000														
	ミカンハモクリガ		200～700ℓ	収穫14日前まで	3回以内	散布							散布			
	チャノキヨラアザミウマ	2000														

※1 本剤の使用回数および、エトフェンプロックスを含む農薬の総使用回数を示す。 ※2 ガラス室等の施設での水耕栽培

※3 ヨシ、オギ、スキ、セイタカアワダチソウ等の多年生雑草が優占している休耕田

△ 使用上の注意事項



- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- 蚕に対して長期間毒性があるので、近くに桑園がある場合には絶対に桑葉にかからないようにしてください。
- 散布器具、作業衣等は桑用と必ず区別してください。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことについて注意してください。
 - ①ミツバチ等の巣箱及びその周辺に飛散するおそれがある場合には使用しないでください。
 - ②関係機関(都道府県の農業指導部局や地方の農業団体等)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。
- 本剤のかんきつ茶での散布は、場合によりハダニ類がふえることがあるので注意してください。
- ねぎのシロイチモジヨトウの防除に使用する場合は、食入前の若令幼虫期に散布してください。
- さくのアブラムシ類への使用にあたっては、一部地域のワタアブラムシでは効果が劣ることがあるので使用をさせてください。
- 採種用とうきに使用する場合は、根部及び葉を収穫せず、種子の収穫に限ってください。
- 水耕栽培に使用する場合は、根部及び葉を収穫せず、種子の収穫に限ってください。
- 本剤を本田の水稻に対して希釀倍数300～600倍で散布する場合は、所定量を均一に散布できる乗用型の速度連動式地上液剤少量散布装置を使用してください。
- 本剤は自動車等の塗装面に散布液がかかると変色するおそれがあるので、散布液がかかるないように注意してください。
- 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意してください。よくに適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

△ 安全使用上の注意事項

- 誤飲などのないよう注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐かせないで、直ちに医師の手当を受けさせてください。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けてください。
- 本剤は眼に対して強烈刺激性があるので、散布液調製時には保護眼鏡を着用して薬剤が眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに十分に水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 原液は皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落してください。
- 使用の際は、農業用マスク、手袋、長袖の上着などを着用してください。
- 作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、洗ううきをしてください。
- 街路、公園等で使用する場合は、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に關係のない者が散布区域に立ち入らないよう繩囲いや立て札を立てたりなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。
- 水産動植物(甲殻類、冷水魚)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。養殖池等周辺での使用は避けてください。なお、比較的低濃度でも魚が平衡失調を起こす恐れがあるので、十分注意してください。
- 散布後は水管理に注意してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調整を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 危険物第四類第二石油類に属するので、火気には十分注意してください。保管:火気を避け、直射日光が当らない低温な場所に密栓して保管してください。

万一、誤飲・誤飲した場合には、速やかに医師の手当を受けてください。
皮膚などにかかった場合には、十分な水で洗い流してください。
さらに、異常を感じた場合は、医師の手当を受けてください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。
●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。
●防除日誌を記帳しましょう。

●ラベルの記載以外には使用しないでください。
●容器、空袋などは圃場などに放置せず、適切に処理してください。

※本製品は農業用殺虫剤であり、製品ラベルの記載内容以外には使用しないでください。※本印刷物は2021年11月24日現在の資料、情報、データ等に基づいて作成しています。

NIK-TB2021.11K

取扱い



は登録商標 第4702318号



サンケイ化学株式会社

本社 〒891-0122鹿児島市南栄2丁目9
九州北部営業所 〒841-0025佐賀県鳥栖市曾根崎町1154-3
宮崎事務所 〒880-0056宮崎市神宮東3-6-19

(099) 268-7588
(0942) 81-3808
(0985) 25-7051